

四万十市体験型観光受入研究会の取り組み 市場体験学習

研究会のメンバーのひとつである幡多公設地方卸売市場では、「市場に人を呼び込んで活気づけたい」との思いから観光客の誘致を計画し、体験型の修学旅行などを誘致している幡多広域観光協議会と連携し、モニターツアーの実施やメニュー作りを進めてきました。

6月7日、下田中学校の1年生がモニターとして招待され、体験学習を行いました。

生徒たちはまず市場内での注意事項などの説明を受けた後、競りの見学や鰹のタタキ作りを体験。自分たちで作ったタタキの試食後はビデオを使って物流の仕組みを学習しました。質問タイムでは「高値で競り落とされるものは何ですか。」「競りに出された品が余ることはありませんか」といった質問を投げかけるなど充実した時間を過ごしました。

市場では、競りの見学や物流に関する学習を通して、市場の役割や普段自分たちが食する魚や野菜などがどういった仕組みで食卓まで運ばれているのか、また、実際魚に触れたり、タタキ作りなどを体験し、さらに食することで食育の大切さを学んでもらいたいと考えており、これまでのモニターツアーを通して作り上げたメニューをさらに磨きあげ、観光客を誘致していく予定です。



【問い合わせ先】

四万十市体験型観光受入研究会

(観光課) ☎(34)1783